

大学に地域防災センター

文科省・産学連携構想の拠点着工
地震情報の活用法など探る



愛工大工学部都市環境学
科・正木和明教授らの研究
プロジェクト「地震情報活
用と防災拠点形成による地
域防災力向上技術開発」が
文科省の産学連携構想に選
定され、拠点施設の「地域
防災研究センター」建設が
十月八日に始まりました。|
写真はイメージ図。
防災センターは鉄筋コン

クリート二階建て、延べ約
五百二十二平方メートルで、来年
二月の完成予定。またプロ
ジェクトは、三河地域にあ
る企業の地震防災向上のた
めの技術開発やセンターの
果たすべき役割についての
研究などがテーマで、三十
カ所の観測地点を設けデー
タ収集や分析を行う実施す
ることになっています。

勲章を胸に下げた後藤理事長



六年
政府が十一月三日付で発
表した平成十六年秋の叙勲
— 授章（私学振興功労）の栄
誉に輝きました。長
年にわたって学校法
人名古屋電気学園理
事長や愛知工業大学
学長を務め、教育界
に尽くしたことが評
価されたものです。
伝達式は十一月十

平成十六年秋の叙勲で 後藤理事長に旭日中綬章 代表で天皇陛下にお礼を言上

政府が十一月三日付で発
表した平成十六年秋の叙勲
— 授章（私学振興功労）の栄
誉に輝きました。長
年にわたって学校法
人名古屋電気学園理
事長や愛知工業大学
学長を務め、教育界
に尽くしたことが評
価されたものです。
伝達式は十一月十



愛知工業大学
愛知工業大学情報電子専門学校
愛知工業大学名電高校
愛知工業大学附属中学校

目次:

万博大学関連	2・3
サイエンス大賞	4・5
東南大との交流	5
スポーツ情報	6・7
私大展など	7
中高等学校祭	8

発行所
名古屋電気学園
〒464-8540
名古屋市中種区若水3-2-12
TEL (052) 721-0201

日正午から、東京・国立劇
場大劇場で行われ、塩谷
立・文部科学副大臣から各

学園の創立92周年記念式典開く 日泰寺本堂では新物故者の法要も

学園創立92周年記念式典
が十一月八日午後零時半か
ら高校・喬徳館で行われ、
後藤淳・理事長のあいさつ
に続いて永年勤続の二十六
人に表彰状などが贈られま
した(⑥面に氏名一覧)。
このあと、受賞者代表の加

章の受章者代表に勲章が贈
られました。午後二時五十
分からは皇居で天皇陛下に
拝謁(はいえつ)してお祝
いの言葉を受け、後藤理事
長が受章者を代表し「この
榮譽を体し、それぞれの分
野で一層精進を重ねる決意
です」などと、お礼を言上
(ごんじょう)しました。

外部講師陣の 顔ぶれ固まる

来春開講の大学院

愛知工業大学は、昼夜開
講制ビジネス系大学院「経
営情報科学研究科」(博士
前期・博士後期課程の各経
営情報科学専攻) Ⅱ 文部科
学省に設置認可申請中Ⅱを
来春開講しますが、外部か
ら招へいする講師陣の顔ぶ
れ、担当科目が十一月まで
にはほぼ固まりました。

外部講師陣は、現時点で
十九人が予定されています。
す。内訳は国・公・私立大
学の教授らが十人、トヨタ
関連企業など実業界が六
人、その他の分野が三人と
なっています。



④永年勤続表彰を受け、代表でお礼の言葉を述べる加藤教授⑤日泰寺本堂で行われた物故者法要

愛知工業大学の「21世紀・万博大学」概要

四月九日にEXPOホールで開校式

全13回 講師代表の毛利衛さんも参加し記者発表

愛知工業大学が、二〇〇五年三月開幕の愛知万博に



写真は記者発表する右から毛利衛さん、後藤淳理事長、後藤泰之愛工大工学部長、夢童由里子愛工大客員教授

あわせて開講する公開講座「21世紀・万博大学」の概要が固まり、十月十三日に名古屋市中区の東急ホテルで発表記者会見などが行われました。

記者会見には新聞・テレビなどマスコミ三十一社が参加し、主催者側からは万博大学学長を務める学園理事長の後藤淳総長、後藤泰之愛工大工学部長、講師代表の宇宙飛行士・毛利衛さんらが出席しました。後藤学長が「愛知万博の理念・自然

材料開発の国際シンポジウム開く

愛工大 遠藤守信・信州大教授が特別講演



愛知工業大学工学部応用化学科の稲垣道夫教授らと研究プロ

プロジェクト「新材料開発」が、文部科学省の「学術フロンティア推進事業」に選定されて二年余を経過しました。研究の中間報告を兼ね、国際シンポジウムが十

月十四日から三日間にわたって愛工大の総合技術研究所で開かれました。

海外からも含め、初日は約八十人が出席。午前十一時からナノテクの研究で知られる遠藤守信・信州大工学部教授の特別講演「21世紀の材料科学」写真



講演する毛利衛さん

の叡智に共鳴し、長久手、瀬戸両会場に近い愛工大としての役割を果たそうと、万博大学の開学を決めました」など趣旨を説明したあと、講座の概要や講師陣の紹介などを行いました。万博大学はすべて土曜日の開講で、四月九日の初回と九月三十日の最終回は万博・エクスポホールを会場に午後一時―三時三十分、

二―十二回は愛工大キャンパスで午後一時―二時三十分となっております(日程、講師、講義のテーマなど③面に)。また講義は遠隔システムを使い、愛工大本山キャンパス(来年三月完成予定・名古屋千種区本山に建設中)や愛工大名電高校(千種区若水二丁目)のサテライト教室に発信されるほか、姉妹提携校の東南大学(中国・南京市)にもインターネットで同時中継される予定です。記者発表に続き、毛利さ

んが「愛・地球意識の新しいひろがり」と題して特別記念講演。そのあと万博大学名誉学長を務める豊田章一郎・二〇〇五年日本博覧会協会会長も出席してレセプションが開かれました。講義は単位認定の対象科目(前期選択2単位)。単位互換の取り決めをしている愛知県内他大学からの受講生も、履修登録すれば単位取得も可能です。愛工大では、万博大学のほか左に掲載した2研究の発展も予定しています。

◇ユニット型レスキューロボット＝地震災害などの現場で、倒壊した建物や土砂崩れなどに閉じこめられた被災者を探すことを目的に開発されています。長さ13センチの円筒型ユニットを組み合わせ、ヘビ型などロボットの形を簡単に変更、先頭部分のカメラが内部情報を救助本部に伝えるなどの確かな活動ができるよう工夫されています。長久手会場のモリゾー・キッコロメッセで3月25日から4月24日まで、名古屋商工会議所主催の「モノづくりランドシンフォニア」に出展される予定です。



◇LED発光・風車モニュメント＝風車の羽根にLED(発光ダイオード)を取り付け、目の残像現象を利用してモリゾーやキッコロなど図や文字を表示します。モニュメントは、高さ7メートルの支柱に2メートルの羽根を持つ垂直軸型風車を取り付け、赤、青、緑のLED約2400個を回転させて図などを浮かせ上がらせます。長久手会場の西ゲート入り口に近い「遊びと参加ゾーン」内で、グローバル・ループから20メートルの地点に設置する予定です。電源には、環境に優しい風力と補助用太陽電池の自然エネルギーだけ使用。





④「万博八草駅(愛工大前)」のイメージ図
⑤方向転換のテストをするリニモ

愛知万博開幕まで、あと百十日余となりました。長久手、瀬戸両会場に隣接する愛知工業大学周辺では、リニモ関連施設や道路整備など各種工事が盛んに行わ

れています。会場アクセスの中心となるリニモ・愛知環状鉄道の「万博八草駅」のイメージ図と、連日走行テストを繰り返しているリニモの写真を紹介します。

「万博八草駅」のイメージ図完成 リニモは連日走行テストを繰り返す

万博大学名誉学長と各回講師陣

第7回 藤本 義一氏			名誉学長 豊田章一郎氏
第8回 C.W.ニコル氏			第1回 毛利 衛氏
第9回 晝馬 輝夫氏			第2回 野依 良治氏
第10回 須藤 誠一氏			第3回 清水 信義氏
第11回 河合 隼雄氏			第4回 坂村 健氏
第12回 涌井 雅之氏			第5回 中村 桂子氏
第13回 梅原 猛氏			第6回 遠藤 守信氏

21世紀万博大学の一般受講者申し込み方法

【コース】

- ①13回すべてを受講するコース (全13回コース)
- ②希望の講座を受講するコース (オープンコース)

【会場】

- ①万博会場・エキスポホール②愛工大キャンパス③愛工大本山キャンパス④名電高校

【会場別定員】

- ①エキスポホール (初回・最終回) 200人
- ②愛工大キャンパス (2~12回) 200人
- ③愛工大本山キャンパス・名電高校 各回90人

【受講料】

無料ですが、初回と最終回のエキスポホール受講者は万博会場への入場料が必要。

【申し込み方法】

Eメール、はがき、ファクスに「万博大学受講希望」と明記し、住所・氏名・年齢・職業・電話番号、携帯電話番号・メールアドレス (お持ちの場合) と申し込みコース、希望会場を記入の上、2005年1月15日必着で次のあて先へお寄せください。

〒470-0392 愛知県豊田市八草町八千草1247 愛知工業大学万博大学事務局
電話 0565-48-8121 (代表) ファクス 0565-48-9171

Eメール banpaku@aitech.ac.jp

※愛工大生・他大学生も、詳しいことは上記・事務局まで問い合わせてください。

日程・講師・講義テーマ一覧

	開講日	講師	肩書	テーマ (予定)
第1回	4月9日	毛利 衛氏	日本科学未来館館長・宇宙飛行士	地球生命として未来への挑戦
第2回	4月16日	野依 良治氏	理化学研究所理事長・ノーベル化学賞受賞者	ノーベル化学賞への道
第3回	4月30日	清水 信義氏	慶応大学教授	ヒトの設計図・ゲノムを極める
第4回	5月14日	坂村 健氏	東京大学教授	どこでもコンピュータの時代
第5回	5月21日	中村 桂子氏	J T生命誌研究館館長	機械的世界観からの脱却 生命誌の視点
第6回	6月4日	遠藤 守信氏	信州大学教授	ナノテク：技術を超える技術
第7回	6月11日	藤本 義一氏	作家	人間再発見・情報に踊らされる人、情報で踊らせる人
第8回	6月25日	C.W.ニコル氏	作家	森と人間
第9回	7月9日	晝馬 輝夫氏	浜松ホトニクス社長	未知未踏よりビジネスへ
第10回	8月6日	須藤 誠一氏	トヨタ自動車常務役員	パートナーロボットで未来を拓く
第11回	8月20日	河合 隼雄氏	文化庁長官・京都大学名誉教授	人間の心と社会のあり方
第12回	9月3日	涌井 雅之氏	桐蔭横浜大学教授・愛知万博プロデューサー	地域遺伝子としてのランドスケープ
第13回	9月10日	梅原 猛氏	哲学者	自然の叡智・人間の知恵

工科展優勝の鉄人プロジェクト



セントラル広場のステージ



子どもに人気の動物園



12号館前での大道芸



第44回愛知工業大祭

イベント山盛り
楽しさいっぱい

「HANDS」をテーマにした第44回愛知工業大祭が十月十六、十七日を中心に開かれ、学生たちは各種イベントやコンサート、模擬店など

を楽しんでいました。また十七日には秋のオープンキャンパスも実施され、愛工大を自分の目で見ようと多くの受験生や保護者らが訪れました。

第3回A I Tサイエンス大賞発表会

最優秀賞
自然科学部門は名古屋市立菊里高
ものづくり部門は愛知県立岡崎高

愛工大名電の「からくり」も優秀賞に

東海四県の高校生を対象とした愛知工業大学の第三回「A I Tサイエンス大賞」入賞候補作品発表会が十一月六日、大学10号館大講義室で開かれ、参加全作品のパネル展示もA I Tプラザで行われました。
自然科学部門（十六校十八件・酒井忠雄審査委員長）、ものづくり部門（十一校十六件・加藤厚生審査委員長）で慎重審査の結果、最優秀賞は名古屋市立菊里高校（自然科学）と愛知県立岡崎高校（ものづくり）に決まり、愛工大名電高校の「からくり人形」も優秀賞に選ばれました。各賞と作品のテーマなどは下と次ページの表の通りです。

審査委員長から表彰状を受ける
菊里高代表(左)岡崎高代表



賞	高校名	テーマ
自然科学部門	最優秀賞	菊里（名古屋市立） フーリエ解析による蛇腹ホース発音の考察
	優秀賞	吉城（岐阜県立） 飛騨における地温・地熱の研究
		一宮（愛知県立） ミルククラウンの形態について
		関（岐阜県立） NO2がアイビーの光合成量および蒸散量に及ぼす影響について
	奨励賞	東海南（愛知県立） シャボン玉
		各務原（岐阜県立） 地震と火山の関連性について
		半田（愛知県立） 海藻類からのヒ素の検出
		加茂（岐阜県立） 火成岩の化学組成とガラスの色
		羽島北（岐阜県立） カプトエビ〜ふ化の条件〜
	審査委員賞	岐阜農林（岐阜県立） 金華山達目洞の変形菌調査
四日市西（三重県立） 矢合川の水質と水生生物の調査〜3年間の調査結果からの考察〜		
特別賞	岡崎（愛知県立） 人間の立体認識におけるR&D（research and development）	
	成章（愛知県立） 地域と連携して科学を大いに楽しもう！〜ボランティア学習会「科学の実験室」の実践と可能性〜	
努力賞	武義（岐阜県立） 鶴形山のヒメハルゼミ	
	日進西（愛知県立） コンピュータの分解による内部構造の理解	
	吉城（岐阜県立） 地震予知の研究〜動物たちの地震予知〜	
	一宮（愛知県立） 冷却CCDによる彗星観測	
	浜松工業（静岡県立） 大地震を想定した避難生活体験〜まだ見ぬ大地震後に生き抜くために〜	

熱烈歓迎・中国東南大代表团



今後の交流計画などについて協議する代表团



大学祭で模擬店を楽しむ学生代表団

熱烈歓迎・愛工大学生代表团



大礼堂前で記念撮影する愛工大学生代表团

姉妹提携している東南大
学（中国・南京市）との交
流は、九月以降も大学幹部
や学生代表団が訪問し合う
など活発で、両校の友好は
さらに深まりました。
東南大代表团（胡凌云団

長ら六人）は十一月十六日
に来学。技術や教職員・学
生の交流など今後の計画を
協議、二教授による特別講
義も行われました。一カ月
前には学生代表団（郭晋林
団長ら十二人）が来学し、

施設見学や大学祭の模擬店
回りのほか、関西方面の見
学旅行も楽しみました。
一方、愛工大の学生代表
団（石垣尚男教授ら二十三
人）は九月八日から一週間
にわたって訪中。東南大で
体育授業や学生交流会に参
加したほか、蘇州、上海な
ど中国の歴史と現状をじつ
くり見て回りました。

東南大との関係さらに強化
交互交流で友情、研究深め合う

秋のオープンキャンパス

震度7を体験してみよう



飛行船を操ろう



災害に強い都市環境づくり



熱気溢れる全体説明会会場



第3回A I Tサイエンス大賞

第3回A I Tサイエンス大賞

ものづくり部門	賞	高校名	テーマ
	最優秀賞	岡崎（愛知県立）	AURORA～やっぱオーロラみたくねー↑～
	優秀賞	愛工大名電（私立・愛知県）	からくり人形（お茶運び人形）3DCGによるものづくり
		可児工業（岐阜県立）	ヒューマノイドロボットの製作研究
	奨励賞	浜松工業（静岡県立）	災害救助用ロボットに関する研究
		春日井工業（愛知県立）	自転車の研究
		豊橋西（愛知県立）	レンズ付きカメラと印画紙の作成
		可児工業（岐阜県立）	赤外線リモコン制御4足歩行ロボットの製作研究
	審査委員賞	佐織工業（愛知県立）	木製フレームの電気自動車製作に挑戦～インターネットを活用したモノづくり～ リフターの製作と考察
		四日市中央工業（三重県立）	ものづくりへの挑戦－相撲ロボット連覇へむけて－
努力賞	愛知工業（愛知県立）	完全自立型二足歩行ロボットの研究と製作	
	津島（愛知県立）	モデルロケットの研究	
	春日井工業（愛知県立）	ハイブリッドエネルギーシステムに関する研究	
	島田工業（静岡県立）	歩行ロボットの研究	
ピンボールの製作 LEGO MINDSTORMS を利用したロボット研究			

愛工大など会場に土木学会

市民参加テーマにパネル討論も

土木学会の平成十六年度全国大会と、愛知工業大学で、八月から十日までの「市民参加」をテーマにした。メインテーマは「土木事業への市民参加」で、研究者や学生延べ四千人が参加、約九万の研究成果が発表されました。

◇日東財団の研究・海外派遣助成

【研究助成・70万円】◇徳田豊教授「シリコン中の点欠陥に対する水素の挙動評価」◇永和久・大学院生「表面フッ素化石油コークスの電気化学的特性に関する研究」

【海外派遣助成・30万円】◇平野慎也大学院生=2005年4月18~22日、スペイン・バルセロナ◇サマン・スサント研究員=2005年6月8~10日、オランダ・マーストリヒ

が市民参加のテーマとして行われました。市民参加のテーマとして行われました。

◇永年勤続で表彰された皆さん◇

【35年】	(大学)	工学部機械学科教授	加藤	厚生	
		工学部機械学科教授	岩永	弘之	
		工学部都市環境学科教授	森野	奎二	
		工学部都市環境学科教授	木村	勝行	
		経営情報学部マーケティング情報学科教授	石垣	尚男	
		基礎教育センター教授	山田	岳志	
		工学部電気学科助教授	前田	昭徳	
		工学部応用化学学科助教授	安田	伍朗	
		工学部応用化学学科講師	大矢	公彦	
		(高校)	教諭	羽佐田	修二
教諭	大島		寛		
事務部事務長	若杉		和彦		
(学園)	事務局事務長	柏本	輝男		
	事務局運転手	高田	宣章		
【25年】	(大学)	工学部都市環境学科教授	杉野	丞	
		経営情報学部情報科学科教授	鬼頭	繁治	
		基礎教育センター教授	阿部	幸一	
		計算センター事務部課長	近藤	修司	
		学生支援本部教学センター教務課長	柴田	清司	
		(高校)	教諭	織田	秀彦
		(学園)	総合企画本部システム管理室課長	山本	久雄
【15年】	(大学)	事務局総務部総務課係長	柏本	智恵美	
		経営情報学部情報科学科教授	安井	一民	
		工学部電気学科講師	岩田	博之	
		経営情報学部情報科学科事務室事務主任	堀	道子	
		(高校)	教諭	磯部	保文

スポーツ情報コーナー

イチロー選手が84年ぶりにメジャー記録更新

愛工大名電OBで米大リーグ・マリナーズのイチロー外野手



は10月1日(日本時間2日)、シアトルでのレンジャース戦でシーズン256本に3安打を追加。1920年にジョージ・シスラー選手(ブラウンズ)が樹立したシーズン257本を抜いて大リーグ新記録を更新しました。イチロー選手

のレギュラーシーズン最終成績は、161試合に出場して262安打、60打点、8本塁打で打率3割7分2厘をマーク、3年ぶり2度目の首位打者となりました。また、アメリカンリーグのゴールデングラブ賞を、4年連続で受賞しました。

この日、母校の名電には大勢の取材陣が詰めかけ、教職員らは正面玄関左手の大型ディスプレイ前に陣取って衛星放送の中継画像に見入りました。第1打席でタイ記録に並び、第2打席の中前打で新記録を樹立した瞬間、万歳の声上がり、大きな拍手が起こりました=写真。また、昼過ぎには授業を終えた生徒たちもディスプレイ前に集まり、桜井正一校長から先輩の偉業について報告を聞き、大喜びしていました。

愛知大学野球1部リーグの残留決まる

愛工大は愛知大学野球1部の秋季リーグ戦(9月4日~10月24日)で、3勝10敗1分(勝ち点0)、勝率2割3分1厘の最下位でしたが、青木拓也3塁手がベストナインに選ばれました。1・2部入れ替え戦(11月6~7日・豊田球場)では、2部1位の名商大を2勝1敗で下し、1部残留を決めました。

巨人・工藤投手が最年長200勝達成

愛工大名電OBでプロ野球・巨人の工藤公康投手(41)が8月17日、東京ドームでの対ヤクルト戦で今季9勝目を挙げ、通算200勝を達成しました。40歳を過ぎての200勝達成は史上初だそうです。工藤投手は1982年にドラフト6位で西武ライオンズに入団、初勝利はその年8月31日の日本ハム戦。

愛工大名電が神宮大会準優勝

高校と大学各10校が参加して開かれた第35回明治神宮野球大会(11月13~17日)で、連覇を目指す愛工大名電(東海)は福井商(北信越)を6-2で下してベスト4入り。準決勝では羽黒(東北)に3-2で競り勝って決勝戦に進みましたが、7回に主戦、リリーフ投手が打ち込まれて4失点、8回にも3点を失いました。8回までノーヒットに押さえ込まれていた名電は9回、2塁打と本塁打で2点を返したものの2-8で敗れ、神宮大会史上初の2連覇を阻まれました。



◇第57回秋季東海地区高校野球大会

(10月30日~11月7日・岐阜市長良川球場など) = 2年連続4回目の優勝

(写真は優勝を喜ぶ名電ナイン=中日新聞提供)

- ▽1回戦 名電(愛知2位) 4-2 中津商(岐阜3位)
- ▽準々決勝 名電2-1 静岡工(静岡1位)
- ▽準決勝 名電10-7 県岐商(岐阜1位)
- ▽決勝 名電7-2 東邦(愛知1位)

◇第57回愛知県高校野球選手権大会(9月18日~10月2日・熱田球場など)

- ▽2回戦 名電10-3 菊華(7回コールド)
- ▽3回戦 名電25-1 津島(5回コールド)
- ▽準々決勝 名電7-0 成章(7回コールド)
- ▽準決勝 名電10-0 国府(6回コールド)
- ▽決勝 名電3-6 東邦

ゴルフ選手権で愛工大・梶本選手組が初V

第3回中部シングルプレーヤーズ・ダブルスゴルフ選手権(10月15日・額田GC西コース)で、愛工大3年の梶本康太郎選手は岐阜・中京高3年の和田光広選手と初めてペアを組んで出場。ベテランのペアと69で並び、プレーオフ3ホール目の3番ショートホールで和田選手がバーディーを決め接戦をモノにしました。梶本選手は昨年、愛工大同級生の垂木隆明選手と初出場して初優勝していますが、今回は日程が調整できず、練習場で顔見知りの和田選手と即席ペアを組んで出場しました。

学校内容や研究成果を積極PR

学校展にブース出展

◇◇中部の私立大学展は九月四、五日に名古屋熱田区の名古屋国際会議場で、また愛知の私立学校展は十月二十三、二十四日に名古屋市昭和区の市公会堂で開かれました。私大展の愛

宮崎から体験入学者

工大ブースにはおなじみの鉄人28号が登場、私学展は高校、附中の兄弟出展となりました。◇◇情報電子専門学校で十月三十日、ことし八回目の体験入学が行われました。宮崎県東白

杵郡の高校生など保護者も含めて二十四人が参加、学校内容などをチェックしていました。◇◇名古屋吹上ホールで十一月十七日から三日間、産学交流テクノフロンティアが開かれました。愛工大からはロボットや地震など電気、電子、土木などの5研究が出展されました。

産学交流には5研究

◇◇名古屋吹上ホールで十一月十七日から三日間、産学交流テクノフロンティアが開かれました。愛工大からはロボットや地震など電気、電子、土木などの5研究が出展されました。

大学後援会が1-3年次対象に懇談会



保護者会の愛知工業大学後援会懇談会が11月6日午後1時から、愛工大・愛和会館講堂に1~3年生の保護者ら約100人が出席して開かれました=写真。後藤泰之学長、弓場忠道会長のあいさつに続いて鬼頭繁治教学センター長と岩永弘之就職支援センター長が学生生活の現状と注意事項、就職内定状況などについて説明、大学側の支援体制に理解を求めるとともに保護者の協力を要請しました。このあと、学科・専攻、学年別の懇談会が行われ、保護者たちは子どもの進路などについて熱心に質問していました。



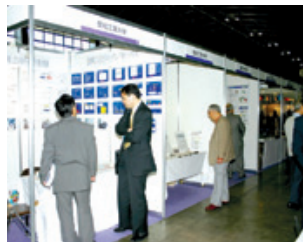
私立大学展愛工大ブース



兄弟出展となった私学展



専門学校の体験入学参加者



テクノフロンティア会場

愛名会で石田東北大院教授が特別講演



名古屋電気学園の支援団体である愛名会(太田宏次会長)は10月26日、名古屋市中区の国際ホテルで社団法人・中部産業連盟(内藤明人会長)と共催の特別講演会を開催しました=写真。平成16年度学術文化交流事業の一環として実施するもので、今回の講師はINAX技術顧問も務める石田秀輝東北大学大学院環境科学研究科教授。石田教授は「人と地球を考えたものづくり-新しいものづくりのかたち」と題して講演。約200人の出席者は環境を破壊しないものづくりなど、石田教授の話に聞き入っていました。

スポーツ情報コーナー

名電・丸山投手をヤクルトが6巡目に指名

プロ野球新人選手選抜(ドラフト)会議が11月17日午後、東京都内のホテルで開かれ、愛工大名電の丸山貴史投手がヤクルトに6巡目で指名されました。会見場となった高校会議室に大勢の取材陣が待機する中、午後3時過ぎにヤクルト球団から桜井正一校長に指名あいさつの電話があり、これを受けて丸山投手が記者会見に臨みました。

丸山投手は「素晴らしい選手が登場するドラフトで指名を受け、本当に光栄です。プロ入りについては、家族や倉野光生・野球部監督らとよく相談して決めたい」と話しました。目標は先輩の巨人・工藤公康投手。下半身を鍛え、球種を増やし、けがの少ない選手を目指したいと抱負を語りました。最も印象に残っている試合は、準優勝した昨年の選抜大会準々決勝の秋田商戦で、15三振を奪ったことだそうです。



この日は明治神宮野球大会の決勝戦と重なり、倉野監督らは会見に同席出来ませんでしたが、3年の野球部員らから花束を贈られ、肩車で担ぎ上げられるなど、盛んな祝福を受けていました=写真。

愛工大ラグビーが新春の全国地区対抗に出場へ

9月19日に開幕した東海学生ラグビーAリーグ(10大学)

は11月14日に決勝戦を迎え、8連勝同士の愛知工業大と名城大が名古屋市の瑞穂ラグビー場で激しくぶつかり合いました。前半は名城大に圧倒され、後半やや盛り返したものの、結局24-34で敗れ準優勝に終わりました。



熱戦を繰り広げる愛工大と名城大チーム

11月21日には、第55回全国地区対抗大学ラグビー大会出場をかけて北陸地区代表の金沢大と対戦し、53-5で大勝して代表の座を手中にしました。全国地区対抗大学ラグビーは来年1月2、4、6日に瑞穂ラグビー場で開催されます。

鬼頭・田崎ペア3回戦で敗退、メダルに届かず

附中・名電・愛工大OBで、アテネ五輪卓球男子ダブルスの鬼頭明選手と田崎俊雄選手のペア(10シード)は、2回戦から出場してギリシャペアに4-3で競り勝ちましたが、3回戦ではセルビア・モンテネグロペアに1-4で敗れ、ベスト8入り、メダル獲得はなりませんでした。

サンタクロースの衣装で軽妙に踊る生徒たち



秋は学校祭のシーズン。愛工大名電高校、愛工大附属中学でもにぎやかに寸劇や意見発表会、踊りなどが披露されました。また、日ごろの成果を伝える作品展も行われ、模擬店では手作りの軽食などが食欲をそそっていました。

喬徳館ステージで踊りを披露する女子生徒たち



にぎやかに学校祭

名電高校

今年の学校祭は九月二十日、体育館・喬徳館や光の庭、各教室などを会場に行われました。

午前九時からの開会式に続き、喬徳館ステージではクイズ、踊り、合唱、和太鼓の演奏など様々な企画が次々と披露されました。光の庭ステージでも演奏や段ボールエツプエル

塔づくりなどが行われ、喬徳館と武道館に挟まれたスペースには模擬店が並んで人気を集めました。

「ススミダス」がテーマの学校祭は十一月十三日、創立記念日の休日を利用して開かれました。

開会式のあと、弁論発表や英語早読み披露などがあり、続いて舞台発表が行われました。寸劇あり、漫才あり踊りありのにぎやかな舞台に、保護者や他校の生徒からも盛んな拍手が送られました。中庭には保護者による模擬店が並び、暖かいスープなどに列が出来ていました。

附属中学



地下鉄千種駅周辺での募金を呼びかけ

愛工大名電高校生徒会（皆川崇真会長、生徒千九百八十人）は十一月十日、新潟県中越地震被災者のために校外募金活動を実施し

新潟地震被災者への募金呼びかけ 高校生徒会

ました。執行部の約二十人が、名古屋市営地下鉄東山線の池下駅北側、今池駅近くの今池ガスビル前と千種郵便局前の計三カ所で午後四時から約一時間、通りかかった人達に募金を呼びかけました。校内募金で集まったお金と合わせ、二十八万六千四百六十九円を中日新聞社に寄託しました。生徒会では、翼にメッセージを書いた折り紙の作成を全校生に呼びかけ、集まった約二千羽も新潟地震の被災者に届けることにしています。

小学生招いて愛工大駅伝 ぬいぐるみや魔女も登場

動物の着ぐるみや魔女、スパイダーマンなど、チエを絞った衣装や作り物を担い

二十四回目の愛工大駅伝大会が好天に恵まれた十一月五日、大学キャンパスでにぎやかに行われました。後藤泰之学長のあいさつ、選手宣誓などに続きオーブンコース、学科・専攻交流、選手権の部に分れて競技がスタート。



大声援を受けてスターとする大畑小児童

での参加者も多く、特別招待の大畑小五・六年生児童二十五人を応援して扮装のまま伴走するなど、楽しいひとときを過ごしました

編集後記

つい先日、何かを食べながら登校中の女子高校生が、さも当然という感じで道路脇の植え込みに食べかすを捨てるのを目撃、あ然としました▼思えば車を運転している時でも、信号待ちの間にドアを開け、灰皿の中身を路上にぶちまけている人も見かけます▼女子高生のこの程度の行為は、いまでは周りの人が何の注意も払わず、大したことはないと思われているのかも知れません▼でも、やってはいけないことが、いつの間にか「みんなやっていること」に変化していくのは恐ろしくすらあります▼少子化がますます進むような心配です。将来に期待できないから子どもを持たないのか、子どもを育てる余裕がないのか▼こうした女高生らを見ていると、大人としてまだまだやらねばならないことは多いようです▼プライバシーは守られなくてはいけません「私の勝手」と置き換えられていくことが多すぎないでしょうか▼良いことは良いと言いつつ、悪い気持ちは続けたいと思いません。時には、勇気も必要でしょうが(柳)